

# まぼろし ことども とうきょうやきへん ワークシート

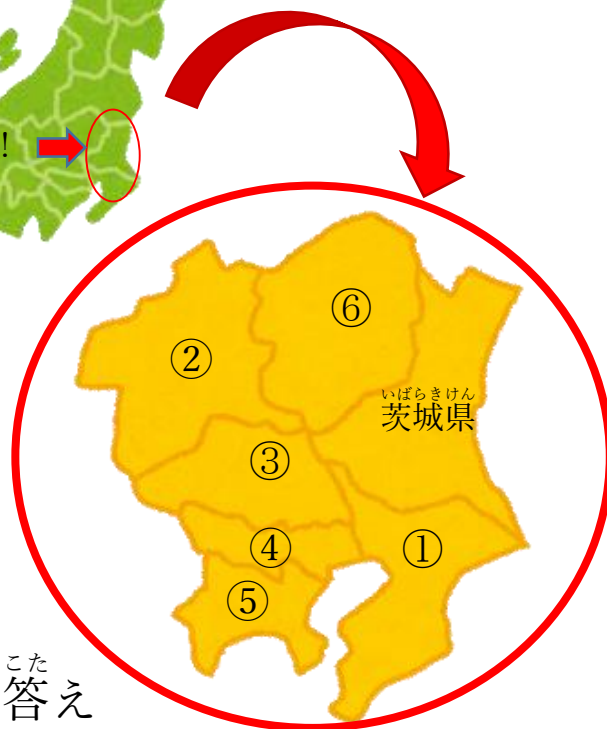
## まぼろし よこはまやき とうきょうやきへん ～ 幻の横浜焼・東京焼編～

### チャレンジ①

きかくてん なまえ とうきょうと  
企画展の名前にある東京都と  
よこはまし かながわけん ちず  
横浜市のある神奈川県は、この地図の  
どこでしょう。①～⑥の中から1つず  
つえら  
つ選びましょう。



いばらきけん  
茨城県はココ!



いばらきけん  
茨城県

こた  
答え

よこはまやき とうきょうやき がいく  
横浜焼・東京焼は、外国に  
ゆしゆつ  
輸出するためにつくられた  
やきもの  
焼き物だったんだって。旅行に  
き りょこう  
来た外国人が東京や横浜で  
ちゅうもん  
注文していったよ。



とうきょうと  
東京都  
( )

かながわけん  
神奈川県 (横浜市)  
( )

小学校 年 名前

### 茨城県陶芸美術館

いばらきけんとうげいびじゅつかん

令和2年 4/18(土)～6/28(日)まで開催

# 企画展「<sup>きかくてん まぼろし よこはまやき とうきょうやき</sup>幻の横浜焼・東京焼」

～<sup>よこはまやき だいひょうてき さつか しょうかい</sup>横浜焼の代表的な作家の紹介～

## 宮川香山（みやがわ こうざん）

<sup>めいじ じだい だいひょう とうこう みやがわこうざん</sup>明治時代を代表する陶工「宮川香山」

は、<sup>きょうとふ とうき しごと</sup>京都府で陶器をつくる仕事をしていた  
<sup>いえ う いえ しごと ひきつぎ よこはま</sup>家に生まれる。家の仕事を引き継ぎ、横浜  
<sup>とうき しごと はじ がいこく りゅうこう</sup>で陶器をつくる仕事を始め、外国で流行  
していた薩摩焼を研究する。そして、

「<sup>たかうきぼり</sup>高浮彫（たかうきぼり）」と呼ばれる

<sup>あたらし ぎほう きん ごうか</sup>新しい技法を生み出す。これは、金で豪華

<sup>かざ つ さつま やき ぎほう</sup>な飾り付けをする薩摩焼の技法のかわり

に、<sup>どうぶつ しょくぶつ かたち</sup>動物や植物などの形をつくり、はり

<sup>つ ぎほう あたらし ひょうげんほうほう</sup>付けた技法である。新しい表現方法を

<sup>かくりつ こうざん ばんこくはくらんかい おお くに</sup>確立した香山は、万国博覧会で多くの国に

<sup>みと せいこう</sup>認められ成功した。

～<sup>たかうきぼり ぎほう つか さくひん</sup>高浮彫の技法を使った作品～



宮川香山 <sup>たかとりゆうたかうきぼりかにかびん</sup>高取釉高浮彫蟹花瓶 1916年

田邊哲人コレクション（神奈川県立歴史博物館寄託）



<sup>みやがわ こうざん</sup>宮川 香山

1842年～1916年

### チャレンジ②

<sup>さくひん み</sup>作品をよく見てみよう！

1, <sup>い もの なんびき</sup>どんな生き物が何匹いますか？

2, <sup>さくひん み おも</sup>この作品を見て思ったことは？

3, <sup>かびん はな</sup>あなたなら、この花瓶にどんな花を  
<sup>かざ</sup>飾りますか？

チャレンジ③：写真の  でかくされている <sup>ところ</sup> 所 には、何 <sup>なに</sup> がいるのかな。  
<sup>てんじしつ</sup> 展示室 <sup>さくひん</sup> の作品 <sup>み</sup> を見て <sup>こた</sup> 答え <sup>か</sup> を書 <sup>き</sup> こう。 <sup>い</sup> 気に入 <sup>さくひん</sup> った作品 <sup>いろ</sup> には、★に色 <sup>いろ</sup> をぬろう。

A



(作品の題名)

(作者)

(所蔵している人)

A 高浮彫牡丹二眠猫覚醒大香炉 宮川 香山 田邊哲人コレクション

B 色絵花鳥文陶板

瓢池園 田邊哲人コレクション

B



高浮彫をつかってるね！

お気に入り度



お気に入り度



C



お気に入り度



(作品の題名)

(作者)

(所蔵している人や場所)

C 色絵花果実文皿 服部杏圃 1874 年 東京国立博物館

D 高浮彫雲龍花瓶 井上良斎 田邊哲人コレクション

D



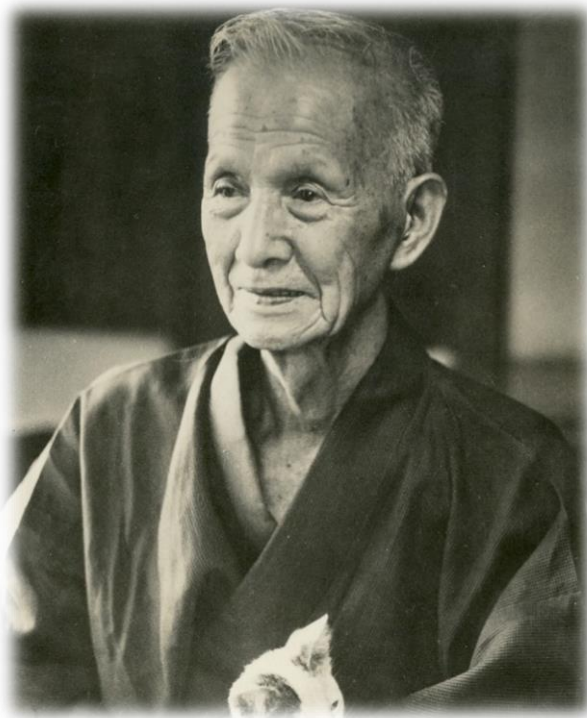
高浮彫をつかってるね！

お気に入り度





いばらきけん だいひょう とうげいか  
茨城県を代表する陶芸家 (1階 第1展示室に展示)



いたや  
板谷

いばらきけん しもだてし げん ちくせいし う  
茨城県下館市(現 筑西市)生まれ。  
とうげいか はつ ぶんか くんしょうじゅしょうしゃ  
陶芸家としては初の文化勲章受章者  
である。理想の陶磁器づくりのために  
は 一切の妥協を許さなかったと  
いわれています。



いたや ほんざん ほくこうさいにぶどうもんようかびん  
板谷波山 葆光彩磁葡萄紋様花瓶 1922年 当館蔵



まつい  
松井

ながのけん う ご いばらきけん  
長野県に生まれ、その後、茨城県  
かさまし たら  
笠間市のお寺  
の住職になる。  
「ねりあげ」という  
ぎほう けんきゅう  
技法の研究を  
かさね、ねりあげ ぎほう  
を重ね、練上技法  
をさまざま おうよう  
して次々と独自  
の手法を発表  
した。



まつい こうせい ねりあげしょうれつもんおつぼ ふうせん  
松井康成 練上嘯裂文大壺「風船」

1981年 当館蔵

じゅうようむけいぶんかざい ねりあげで ほじしゅ  
重要無形文化財「練上手」保持者  
(人間国宝) だよ！すごいね！

